



せたがや区議会だより

No.211

平成19年(2007年)7月20日
発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27
TEL (5432) 1111代表 FAX (5432) 3030
http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/

住環境整備条例を改正する条例などを可決

第2回 定例会



4月に開園した私立認定こども園の様子

議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から15件の案件が提出され、すべて原案どおり可決しました。また、広域連合議員候補者の推薦も行いました。

● 条例の改正 3件

○ 区税条例(全員賛成)

租税特別措置法などの改正によるもの。

○ 地区計画区域内の建築物制限条例

賛成多数
賛成 自民、公明、民主連生、政策、社民、虹、改革、無所属
反対 共産、無党派

○ 大蔵地区地区整備計画区域の追加など。

○ 住環境整備条例(全員賛成)

指定建築物への自動二輪車駐車場附置の規定及びワンルームマンションの最低住戸専用面積の変更。

● 包括外部監査契約の締結 1件 (全員賛成)

相手方 城戸和弘(公認会計士) 契約金額 六七四万三千円を上限とする額

● 町区域の変更 1件

賛成多数
賛成 自民、公明、民主連、政策、改革、無所属
反対 共産、生、社民、無党派、虹

二子玉川東地区再開発事業の実施に伴い、玉川1丁目と2丁目の区域の一部をそれぞれ玉川2丁目と玉川1丁目に編入。

● 特別区道路線の認定 6件

所在地	延長(m)
桜丘4-19	95・10
太子堂3-34	59・92
八幡山1-16	96・37
玉川2-3	26・93
玉川1-20	653・92
玉川1-14	134・36

(全員賛成)

賛成多数
賛成 自民、公明、民主連、政策、改革、無所属
反対 共産、生、社民、無党派、虹

● 特別区道路線の廃止 3件

賛成多数
賛成 自民、公明、民主連、政策、改革、無所属
反対 共産、生、社民、無党派、虹

所在地	延長(m)
玉川2-3-1-12	298・58
玉川2-2-20	53・69
玉川1-14-13	97・87

● 広域連合議員候補者の推薦 1件 (全員賛成)

大場議長を東京都後期高齢者医療広域連合選挙長あてに推薦する。

● 副区長選任の同意 1件

賛成多数
賛成 自民、公明、民主連、共産、生、政策、社民、虹、改革、無所属
反対 無党派

森下 尚治 60歳(新任)

請願

皆さんから出された請願・陳情をお知らせします。

● 新しく出されたもの

◆ 企画総務委員会に付託 3件

○ 南アジアの核軍拡競争を防ぐため原子力供給国グループ(NSG)での慎重な議論を求める陳情

○ 区民税・国保料の大幅負担増から区民の暮らしを守るための施策を求める請願

―ほかに同名の請願1件あり―

◆ 福祉保健委員会に付託 2件

○ 原爆症認定制度の抜本改善を求める意見書等採択に関する陳情

○ 定住外国人高齢者・障害者に対する福祉特別手当に関する陳情

◆ 都市整備委員会に付託 3件

○ (仮称) 砧三丁目マンション」建設計画に関する陳情

○ 瀬田四丁目のマンションに関する陳情

(6ページへ続く)

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。

代 表 質 問

自由民主党世田谷区議員

畠山 晋一議員

2期目に臨む区長の基本的姿勢

質問 区長は基本計画や実施計画などを着実に推進し、防犯対策や子育て支援などで先駆的に取り組み、多くの実績を上げてきた。2期目に臨む基本的姿勢を示せ。
区長 安全安心を基本に、もっと暮らしやすい世田谷をつくる。

予防型行政のさらなる推進

質問 区は、対症療法型行政から予防型行政への転換を基本姿勢に行政サービスの質を高めてきた。その成果をもって東京を変えるべく、予防型行政を一層推進せよ。
区長 災害や虐待などが起きる前の対応に、全庁を挙げて取り組む。
商店街の街路灯への支援
質問 商店街は区民生活の基盤であるとともに、安全安心なまちの拠点でもある。商店街の街路灯への支援を一層強化し、夜でも安心して歩ける商店街づくりを進めよ。
産業政策部長 現在の支援の効果を検証し支援のあり方を検討する。
町会、自治会の活性化
質問 区民同士が手を携えて安心して生活できるまちを目指すべきだ。地域のかなめである町会や自治会の活性化や、地域の新たな活動への支援に一層取り組めよ。
生活文化部長 専門家を派遣するなどの新たな活動支援策を進める。
東京一子育てしやすいまちの実現
質問 子育ての多様なニーズに対応するには、地域の知恵と創意を集めた新たな子育て支援策が必要だ。東京一子育てしやすいまちの実現に向け、どう取り組むのか。
区長 区民の目線に立った多様な子育て支援策を着実に実行する。

在宅療養生活のさらなる支援
質問 国の医療制度改革で、慢性疾患を抱える高齢者の主な入院先である療養病床が削減される。高齢者が住みなれた自宅で安心して療養できるように、支援を強化せよ。

副区長 在宅医療電話相談センターなどを活用し体制整備に努める。
ユニバーサルデザインの推進
質問 区は今後、ユニバーサルデザイン条例のもとにまちづくりを取り組む。施策の推進に当たっては、都市基盤の整備と区民サービスの提供を偏りなく進めよ。
副区長 条例の目指す人間本位、区民本位の理念実現に力を注ぐ。
開かずの踏切の早期解消
質問 区内には、京王線などに依然として多くの開かずの踏切があり、区民生活や緊急車両の通行に支障を来している。安全安心の実現に向け、早期解消に取り組め。
区長 解消に向けた地元の機運の高まりを結集し、一層取り組む。
災害復興における区の対応策
質問 区が策定した災害復興マニュアルの実効性を確保すべきだ。
副区長 資金の確保や効果的な人員配置など、課題解決に全庁挙げて早急に取り組む。区の対応策を確立せよ。
副区長 関係機関と協議し、より実効性のある態勢づくりを進める。
経営の視点での環境施策の展開
質問 これからの環境政策には経営の視点が重要だ。初期投資の負担よりも長期的視点での維持経費の削減を重視するなど、経営を意識した施策を展開せよ。
環境対策室長 常に経営の視点に立って環境施策に取り組んでいく。
今後の区の教育改革の方向性
質問 教育を取り巻く環境の変化に対応した教育政策が必要だ。教育ビジョン第2期行動計画の策定期であることも踏まえ、今後の区の教育改革の方向性を示せ。
教育長 地域や保護者とともに、より質の高い教育の創造を目指す。
遊びと運動の場の確保
質問 子どもの健全な成長には、友達や親と遊べる身近な場所が必要だ。資源の有効活用の観点から、区内のまちづくり用地や道路予定地を原っぱとして開放せよ。
道路整備部長 公有財産有効活用指針を踏まえ可能な限り対応する。

公明党世田谷区議員

諸星 養一議員

療養病床削減への区の対応

質問 療養病床の削減で、多くの長期入院の高齢者が退院を余儀なくされる。区はこれを機に、在宅での療養生活を支えていける世田谷独自のまちづくりを進めよ。
区長 介護と医療の連携で100歳まで生き生き暮らせるまちを目指す。
介護従事者の労働環境の改善
質問 在宅介護を支えるには人材確保が重要だ。劣悪な労働環境の改善につながり、介護従事者が誇りを持って働ける仕組みをつくれ。
保健福祉部長 介護の仕事誇れるようなシステムの構築を目指す。
保育サービスの待機児の解消
質問 区はさまざまな施策で、保育サービス待機児の解消に努めてきたが、いまだに実現していない。待機児の受け入れ枠の拡充に向け全庁挙げて取り組む決意を示せ。
副区長 新たに認可保育園を開設するなど、全力で取り組む。
子育てステーションの設置拡大
質問 区は昨年、都内初の多機能型子育て支援施設を開設し、高い評価を受けている。各地域1カ所の設置にとどまらず、区内の主要な駅すべてへの設置を目指せ。
副区長 まずは、21年度までに各地域に1カ所ずつ開設する。
世田谷らしい産業振興
質問 区内産業の発展には、まちの魅力アップが必要だ。産業ビジョンの策定を機に、大学との新たな産学公連携や観光振興などによるオリジナリティー創出を図れ。
産業政策部長 区内大学の協力を得て世田谷らしい魅力をつくる。
若手アーティストの練習場の確保
質問 文化・芸術振興計画の重点取り組みに掲げた若手アーティストの育成には、練習場の確保が何より重要だ。公共施設のあり方を抜本的に見直し、有効に活用せよ。
生活文化部長 既存施設を有効活

用し、練習の場を確保する。住生活の安定確保

質問 住宅政策には、量の確保から質の重視に転換することが求められている。区においては、まず子育て家庭やひとり親家庭などの住環境の向上に向けて取り組み。
都市整備部長 居住支援住宅認証制度新設などで居住の安定を図る。
みどり率33%達成への取り組み
質問 区内の緑をふやすには、これまで以上に農地の保全や水環境の再生が重要となる。みどり率33%の数値目標を達成するための、具体的な取り組み内容を示せ。
せとがや区長 屋敷林の保全や水辺の再生などに向けた施策を行う。
特別支援教育の充実
質問 学校全体で体制整備を進めてきた特別支援教育が4月から本格的に始まった。今後も学校内外の支援体制を十分機能させ、一人ひとりに適した指導の充実を図れ。
教育改革部長 都立特別支援学校などと連携し、支援を充実する。

民主党・無所属連合

稲垣 まさよし議員

公約実現に向けた財政計画

質問 区長は7つの公約を掲げて当選したが、実現に向けた財政計画が見えない。税制改正の影響などで財政状況が厳しい中、どのような財源見直しを立てているのか。
区長 起債の抑制維持と行財政改革で、安定した財政基盤を築く。
区民に理解される入札制度の構築
質問 相次ぐ他自治体の不正入札事件により、行政への信頼が損なわれている。透明性を確保し、区民に理解される入札制度をつくれ。
副区長 区内産業育成と予防型行政の観点で入札制度改革を進める。
新しい自治体像の確立
質問 23区再編が議論されているが、84万区民を有する当区は区単独での発展が望ましい。政令市への移行も視野に入れるべきだと考えるが、区長の見解を示せ。
副区長 政令市を視野に入れておく必要があると認識している。
二子玉川東地区再開発に伴う課題
質問 二子玉川東地区では再開発に伴う人口増の影響による治安の悪化などが懸念される。交通量の多い地域性も考慮し、時代やニーズに合ったまちづくりを進めよ。
拠点整備部長 関係機関と協議し、事業者への指導などに取り組む。
福祉人材の確保
質問 福祉の現場は、全国的に低賃金、重労働が当たり前の風潮だ。現場経験が豊富で能力が高い福祉のプロを確保するためにも、職場環境の改善を区として支援せよ。
保健福祉部長 福祉人材育成・研修センターで人材の確保に努める。
障害者の親亡き後対策の推進
質問 区内の知的障害者の8割以上が在宅生活を送っており、親の高齢化の進行に伴う親亡き後対策が急務だ。グループホーム整備を進めるなど、より迅速に対応せよ。
保健福祉部長 障害者が地域で自

立生活を送れる仕組みを検討する。保育料の格差是正

質問 保育施設は一定基準を満たしているが、保育料には違いがあり、不公平感が否めない。金額ではなく保育方針によって施設を選べるよう、保育料格差を是正せよ。
子ども部長 受益者負担の適正化などを踏まえ、検討を進めている。
学童クラブの預かり時間の延長
質問 新BOP内学童クラブは預かり時間が午後6時までのため、保護者の多様な就労形態に対応できていない。児童の安全確保の点からも、午後7時まで延長せよ。
子ども部長 新BOP事業全般の検証を行い、事業の充実を図る。
教員の独自採用
質問 教科日本語や特別支援教育の実施などで、区の教員は過剰労働を強いられている。ゆとりを持って職務に当たれるよう、専門知識を持つ人材を区独自で採用せよ。
教育改革部長 制度面での課題などについて、調査研究を進める。



歩行者や自転車が安心して通行できる環境を目指します (弦巻通り)

く必要もあると認識している。
二子玉川東地区再開発に伴う課題
質問 二子玉川東地区では再開発に伴う人口増の影響による治安の悪化などが懸念される。交通量の多い地域性も考慮し、時代やニーズに合ったまちづくりを進めよ。
拠点整備部長 関係機関と協議し、事業者への指導などに取り組む。
福祉人材の確保
質問 福祉の現場は、全国的に低賃金、重労働が当たり前の風潮だ。現場経験が豊富で能力が高い福祉のプロを確保するためにも、職場環境の改善を区として支援せよ。
保健福祉部長 福祉人材育成・研修センターで人材の確保に努める。
障害者の親亡き後対策の推進
質問 区内の知的障害者の8割以上が在宅生活を送っており、親の高齢化の進行に伴う親亡き後対策が急務だ。グループホーム整備を進めるなど、より迅速に対応せよ。
保健福祉部長 障害者が地域で自



教科「日本語」の教科書

本文中で使用している省略表記
環境対策室長 環境総合対策室長
みどりともみず部長 環境部長
政策担当部長
教育改革部長 教育改革担当部長
拠点整備部長 生活拠点整備担当部長
地域政策部長 地域情報政策担当部長

代表質問、一般質問の様子は
ホームページでごらんいただけます。
http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/
議会中継をクリック!

6月12日及び13日の本会議で、6名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

日本共産党世田谷区議員

村田 義則議員

区議区長選挙結果への区長の見解
【質問】 区長は再選を果したものの、住民不在の区政に対する区民の批判が、区長を支持する会派の議席減に表れている。見解を述べよ。

区長 区政への区民の批判が明らかになったとは受けとめていない。低所得者に配慮した区政運営

格差社会の拡大により、生活困難を訴える区民の増加が深刻な問題だ。区民生活を守るため、低所得者への配慮を今後の区政運営の重点課題に位置づけよ。

区長 引き続き区民の生命と財産を守ることを最優先課題とする。

区独自の負担軽減策の実施
【質問】 税控除や減税の廃止などが区民に大きな負担となっている。区として実現可能な区民税や国保料などの負担軽減策を実施せよ。

政策経営部長 国保料と介護保険料には必要な対策を講じた。

商店街再生への取り組み
【質問】 商店街の活性化を産業振興部門中心で進める従来の方法では、廃業が続く区内商店街の現状は変えられない。商店街の再生と回復には区を挙げて全力で取り組みよ。

産業政策部長 今後とも、関係部署と連携を図り取り組んでいく。

住宅の耐震化の促進
【質問】 耐震診断の結果、多くの住宅は耐震化が必要との結果が出た。耐震診断と同様に違反建築物も工事助成の対象とするなど、震災に対する住宅の安全性確保に努めよ。

都市整備部長 都や設計、施工業者と連携を図り支援する。

認可保育園増設計画の明示
【質問】 わが党は一貫して認可保育園の増設を訴えてきたが、区は10年近く増設していない。認可保育園の待機児が100名にも上る現状を踏まえ、今後の増設計画を示せ。

子ども部長 20年の4月末までに3園の私立認可園が開設計画だ。

生活者ネットワーク世田谷区議員

山木 きょう子議員

介護保険サービスの改善
【質問】 介護保険制度改正がサービスの抑制や事業者の負担増を招いていることが、調査などから判明した。今後の区の対応を示せ。

保健福祉部長 利用者の満足度を高めるため事業者の支援に努める。人権教育の一層の推進

人権尊重を掲げる教育現場から過度な競争教育やいじめがなくならないのは問題だ。子どもの意見表明権の確保や社会参加の奨励に努め、人権教育を推進せよ。

教育改革部長 指導計画を作成し、教育活動全体で取り組んでいる。特別支援教育への適切な人員配置

一人ひとりの子どもの育ちをサポートに支える体制が求められる。特別支援教育では、担当教員だけに多くの負担がかからないよう、適切な人員配置を行え。

教育改革部長 学校の体制などの実態を把握し人的支援を拡充する。

少年非行の防止に向けた取り組み
【質問】 少年非行の防止には、子どもと向き合い根本的な原因を見つけていくことが重要だ。補導連絡会を生かしてきめ細かく対応するなど、早急に区独自の取り組みを行え。

子ども部長 子ども基金を活用した非行防止の区民活動を支援する。

新たな視点による産業ビジョン
【質問】 男女がともに働きやすい格差のない労働環境の整備や、若者の就業支援などが必要だ。新しい視点を産業ビジョンに盛り込め。

産業政策部長 安心して働ける社会の実現に向け、方向性を示す。

廃プラスチックのリサイクル拡充
【質問】 廃プラスチックを焼却する前に、中間処理施設の確保などに努め、リサイクルを拡充すべきだ。ペットボトルと白色発泡トレー以外のリサイクルにも取り組め。

副区長 清掃・リサイクル部長 リサイクル拡充に向け引き続き努力する。

せたがや政策会議

小泉 たま子議員

地域社会の機能回復への取り組み
【質問】 日々報道される悲惨な事件の背景には、地域社会の崩壊がある。地域社会のあるべき姿を実現するため、区がその方向性を示し、率先して新たな取り組みを行え。

区長 区民参加と協働による地区のまちづくりを充実し発展させる。町会、自治会への加入促進策

町会、自治会への加入促進策
【質問】 町会、自治会への加入促進に対する区の努力が見えない。転入者への地域情報の提供など、区として何ができるかを考え、実効性ある加入促進策に取り組め。

区長 出張所を中心に町会などの新たな活性化の取り組みを進める。

個人情報取り扱いの新たな仕組み
【質問】 区の個人情報取扱いを災害対策用としてだけでなく、コミュニティづくりにも利用すべきだ。町会への転入者情報の提供を可能にするなど、新たな仕組みをつくれ。

地域政策部長 法令の遵守と、区民の理解を得ることが必要だ。

地区の生活ルールづくり
【質問】 地区での生活で守るべき最低限の常識が揺らいでいる。まちづくり出張所が町会や自治会などと協力し、ルールづくりを行え。

地域政策部長 まちづくり出張所が調整役となり、実現に努める。

閉じられた地域のいまちづくり
【質問】 高い塀で囲まれ厳重に警備された住宅群の出現は、区民とともに安全安心に取り組んできた区にとっても残念なことだ。こうした動きを変えるために力を尽くせ。

都市整備部長 一定規模以上のマンションには行政指導をしている。

子ども施策の一層の推進
【質問】 区の子育て施策は全国規模で見ても先進的ですが、子育て先進自治体としての自覚を持って邁進せよ。

区長 全国をリードするような気概を持って、全力で取り組む。

一般質問

6月13日及び14日の本会議では、29名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

藤井 まな議員 (民主連)

特別支援教育に当たる人材の確保
【質問】 特別支援教育が円滑に機能していない最大の理由は、現場の人材不足だ。学生の支援を単位認定するよう大学に働きかけるなど、人的支援の拡大に努めよ。

より広く地域や区外の大学の協力も受けて進めていく。

特別支援教育を行う学校への支援
【質問】 教育条件の改善や体制の整備に果たす区の役割は重要だ。特別支援教育の人材確保では、教育委員会が学校に足を運んで現場の状況を把握し、積極的に支援せよ。

非常照明を備えた街路灯の設置
【質問】 大地震が夜間に発生した場合、大規模な停電による大混乱が予想される。災害時に避難場所へ安全に移動できるよう、非常照明設備を備えた街路灯を設置せよ。

価格面などに課題があり、整備については今後研究していく。

重政 はるゆき議員 (民主連)

教科日本語の性急な導入
【質問】 4月から区立校で教科日本語の授業が始まったが、教員の研修など多くの面で準備不足だ。現場の教員に事前準備の余裕を与えず実施を急いだ理由を示せ。

教科日本語への教員の意見収集
【質問】 小学校低学年に難解な古典を読ませるなど、教科日本語の内容は児童生徒の立場で考えられていない。教科日本語の導入に当たり、現場教員の意見を聞いたのか。

特養ホームの整備の推進
【質問】 在宅介護の負担の重さに困っている高齢者と家族を支援すべきだ。3カ所しかない区立特養ホームの待機者解消に向け、施設の増設や増床、人員確保に取り組め。

青空 こじ議員 (無所属)
オウム教団への対策
【質問】 オウム教団が分裂してできた新教団の出身は従来と何ら変わっておらず、引き続き警戒が必要だ。新教団もオウム対策の対象とし、地元住民への支援を続けよ。

自然体験事業の情報の一元化
【質問】 田植えなどの自然体験へのニーズの高まりが今後も予想される。区や区内団体が実施する農業体験や自然体験の情報を一元化し、より参加しやすい仕組みをつくれ。

総合運動場の有効活用
【質問】 総合運動場の陸上競技場の利用終了時刻は年間を通じて午後5時だ。日が長くなる季節には利用時間を延長するなど、施設を最大限有効活用できるように工夫せよ。

吉田 恵子議員 (生 生)
町中での喫煙場所の確保
【質問】 路上禁煙地区の指定にとどまらない取り組みが必要だ。禁煙表示の工夫だけではなく、町中に喫煙場所を確保し、吸わない人と共存を図る取り組みも進めよ。

産出に関する多様な情報の提供
【質問】 産科医やお産を扱う施設の減少が問題化している。安心して出産できるよう、子育てコンパスの出産編をつくるなど区民が多様な情報を得られる方法を工夫せよ。

建物解体時の害虫駆除の義務づけ
【質問】 建物の建てかえ時には、ネズミや害虫が周辺一帯に拡散するおそれがあり対策が必要だ。事業者による解体工事前の害虫などの駆除を要綱などで義務づけよ。

大庭 正明議員 (政策)
選挙違反ポスターの撤去命令
【質問】 選挙期間中に、事前に張った選挙ポスターをはがさないことは公選法違反だ。張り残しが多い現状に対し、区は撤去要請ではなく、罰則を伴う撤去命令を発せよ。

選挙期間中のホームページの更新
【質問】 選挙期間中のホームページの更新がどの程度法令に抵触するかについて、3月の予算委員会では確認したが、今後解釈が変更されると聞く。内容の確定時期を示せ。

適切な後援申請の手續
【質問】 区後援と記した現職区議の顔写真入りポスターを承認前に張ったり、後援申請時とは違うデザインのパスターを張ったりした団体がある。調査し議会に報告せよ。

答弁 現在、当該団体へ経過を文書で提出するよう指示している。

答弁 今後、関係部署が連携を図り、研究していく。

答弁 今後、関係部署が連携を図り、研究していく。

答弁 今後、関係部署が連携を図り、研究していく。

問

中村 公太朗議員(民主連)

保育ママ制度の充実

質問 保護者の就業形態の変化や家庭的な保育への要望などから、保育ママ制度の一層の充実が望まれる。待機児解消に向けた保育ママ制度に対する区の方針を。答弁 巡回指導相談を行うなど、安心して利用できる体制をつくる。

行政評価への区民参加の促進

質問 行政評価における外部評価では、第三者の目線を取り入れるため区民意見などを公募したが、18年度は応募がなかった。公募制度を一層周知し、区民参加を促せ。答弁 評価結果の公表方法の改善などを行い、区民参加を推進する。

包括外部監査結果への対応状況

質問 区では監査委員制度に加え、外部委託による包括外部監査を行い行政運営へのチェック機能を高めている。これまでに指摘を受けた事項の改善状況を。答弁 93件の指摘事項のうち64件について対応を完了した。

質

市川 康憲議員(公明)

歩道橋のバリアフリー化

質問 東名道入り口の交差点には横断歩道がなく、自転車やベビーカーを持ち上げて歩道橋を渡らなければならぬ状況だ。歩道橋のバリアフリー化に早急に取り組み。答弁 バリアフリー化について、引き続き都に働きかけていく。

自転車走行環境の社会実験

質問 区は、自転車の走行環境の整備に向け、自転車走行レーンの車道への設置や歩道との分離などの社会実験を行うと表明した。実験を行う場所の選定条件を。答弁 歩車道分離の道路で自転車利用が多いことなどを条件とする。

自転車利用者の傷害保険への加入

質問 急増している自転車と歩行者の接触による交通事故に備えるには、自転車利用者の傷害保険への加入が不可欠だ。自転車利用のマネーとして加入を強く訴えよ。答弁 PRを行うとともに、自転車販売店にも協力を要請する。

唐沢 としみ議員(社民)

区民による地域の課題解決

質問 地域の課題を区民の力で解決することが地域行政の原点だ。地域の人材を活用し、NPOなどの活動団体と連携を図りながら課題を解決していく仕組みをつくれ。答弁 出張所改革を契機に区民がつくるまちの実現に一層取り組む。

出張所体制の強化

質問 区民が地域の情報を共有でき、こそ地域課題の解決が可能となる。地域の情報拠点としての出張所の機能を高めるためにも、出張所体制の強化について検討せよ。答弁 まちづくりの積極的取り組みを仕組むに努力する。

中高年者の地域参加の推進

質問 区は、生涯現役推進計画の中で、地域ネットワークづくりの支援を大きな柱の一つとしている。団塊世代を初めとした中高年者の地域参加をどのように進めるのか。答弁 中高年者と地域活動団体を結びつける事業などを行う。

中里 光夫議員(共産)

経堂駅周辺まちづくりについて

質問 経堂駅東地区地区計画素案は、駅周辺と操車場跡地に60mの高層ビルを許すもの。抽速に手続を進めるな。操車場跡地について区が知り得た情報を。答弁 事業者が地元で説明した以上の情報は区に示されていない。

区役所本庁舎の建て替えについて

質問 区が示した報告書は事実上の新庁舎建設計画書だ。建て替えより区民の負担軽減を優先せよ。改修整備52億円とあるが、20年以上改修で維持できるということか。答弁 建物を単に維持していくための修繕費で52億円ということだ。

入札制度の改善について

質問 入札制度には公平性や透明性とあわせて地域経済の発展に資することも求められる。中小業者の公共事業への参入機会の充実や、価格競争激化の回避策も検討せよ。答弁 区内産業の振興や育成を確保しながら入札制度改革を進める。

竹村 津絵議員(生ネ)

透明性ある世田谷清掃工場の運営

質問 安全性への不安を残し世田谷清掃工場は試運転を始めた。安全で透明性ある運営の実現に向け、操業協定の締結や環境団体も含めた運営協議会の設置に取り組め。答弁 清掃一組との協定締結や地元との協議の場の設置を検討する。

人と動物の共生社会の推進

質問 法改正により、収容された犬猫も致死処分ではなく、できる限り譲渡をすすめるようになった。区内に複数あるボランティア団体の里親さがし活動をPRせよ。答弁 不幸な動物を減らすため、民間団体と協力して啓発に努める。

災害時の動物対策

質問 犬と暮らす人の割合が23区で最多の世田谷では、災害時の動物対策も忘れてはならない。17年の一般質問で求めたが、避難所運営での備えはすすんでいるか。答弁 地域防災計画に盛り込み、マニュアルの整備を進めている。

中塚 さちよ議員(民主連)

要支援高齢者のケアマネジメント

質問 要支援高齢者には切れ目のないケアが必要だ。現在は介護予防ケアマネジメントをあんしんすこやかセンターだけで行っているが、委託のあり方も含め再考せよ。答弁 介護予防の効果を最大限に発揮できるよう体制を整備する。

地域密着型サービスの整備

質問 地域密着型サービスの整備が喫緊の課題だ。サービス提供事業者選定のプロポーザル実施では、選定基準や審査内容、選定結果などを事業者や区民に示して進めよ。答弁 できる限り応募しやすいプロポーザルとし、整備を誘導する。

小田急線地下化後の上部利用

質問 下北沢駅周辺まちづくりへの住民参加の仕組みに課題が残る中、区は小田急線地下化後の上部利用に関する基礎調査を行う予定だ。調査の目的や方法を。答弁 上部利用方針に位置づけた施設の配置や適正規模を検討する。

高久 則男議員(公明)

特定健康診査の受診率向上

質問 20年度から、生活習慣病の予防などを目的とした特定健康診査が実施される。隣接区での受診や土日の受診を可能にするなど、利便性を高めて受診率向上を図れ。答弁 特定健康診査等実施計画に受診率の目標値などを盛り込む。

公道と私道の整備格差の解消

質問 バリアフリーのまちづくりには、公道と私道の整備格差の解消が不可欠だ。区内に多く存在する私道が老朽化したまま取り残されないよう、整備誘導策を講じよ。答弁 私道の状況を見ながら、現行の助成制度のあり方を研究する。

バス停へのベンチ設置の推進

質問 区内バス停へのベンチ設置が進んでいるが、全箇所への整備見通しが立っていない。行政の縦割りを排し、特に遅れている、国道や都道のバス停への設置を急げ。答弁 都や国などの道路管理者と協議するとともに方策を検討する。

新川 勝二議員(自民)

区内共通商品券の普及促進

質問 電子マネーやポイントカードの影響などもあり、プレミアムつき以外の区内共通商品券の販売実績が落ちている。商店街の一層の活性化に向け、支援に努めよ。答弁 普及拡大に向け、関係機関と連携しPR方法などを検討する。

総合型地域スポーツクラブの支援

質問 健康で活力ある地域社会を実現するには、だれもがスポーツに参加できる環境づくりが不可欠だ。総合型地域スポーツクラブへの支援体制を一層強化せよ。答弁 施設利用の負担軽減を検討するなど、支援に取り組む。

オーケラランド外周水路の整備

質問 オーケラランド外周部の民有水路は、蚊や悪臭の発生防止と、通学路としての安全確保が必要だ。蓋掛けを求める地元住民の要望を実現するために、区は力を尽くせ。答弁 所有者と調整し、早期に蓋掛けが実現するよう努力する。

岡本 のぶ子議員(公明)

高齢者安心コールの周知

質問 高齢者安心コールの周知が不十分だ。コールセンターの連絡先を大きく記したシールを区が作成し、地域住民が説明しながら配るなど、周知方法を工夫せよ。答弁 民生委員や町会などの協力も得て、さらなるPRに努める。

若者への広報広聴サービスの充実

質問 魅力あるまちをつくるために、柔軟な発想を持つ若者の声にもっと耳を傾けるべきだ。携帯電話の活用など、双方向性の高い広報広聴サービスの構築を検討せよ。答弁 情報提供や区民意見の収集方法について、さらに工夫する。

補助金の支給回数を見直し

質問 私立幼稚園に通う園児の保護者への補助金は、半年分ずつの後払い支給のため、家計の負担軽減効果が薄い。在宅子育て支援の観点から、支給回数をふやせ。答弁 事務手続や私立幼稚園の負担などの課題とあわせて検討する。

鈴木 昌一議員(自民)

教科日本語の教科書への区の評価

質問 教科日本語の教科書には、哲学などの科目もあり、有意義でレベルの高い内容だ。教育関係者やマスコミからの反響も踏まえた区としての評価を。答弁 保護者や区民を初め、全国から高い評価を得ている。

教科日本語教科書の海外への普及

質問 海外在留の日本人を初め、海外で日本語を学ぶ人がふえていく。教科日本語の教科書のすばらしさが世界に広がるよう、海外の教育機関にも教科書の活用を促せ。答弁 海外の日本人学校などへ、さまざまな機会を通じ広めていく。

英語教育の充実

質問 豊かな国際感覚を持つだけでなく、自国を理解し外国語で表現できることが、真の国際人には必要だ。世界に通じる国際人の育成に向け、英語教育を充実せよ。答弁 今後とも各校の取り組みを支援し、英語教育の充実を図る。

杉田 光信議員(公明)

いじめゼロに向けた取り組み

質問 学校関係者だけでいじめ問題を解決することは困難だ。公平に当事者の話を聞き、子どもの立場で解決に当たる民間の第三者機関と協働した取り組みを進めよ。答弁 地域で活動する民間団体の活動も重要であると認識している。

通学路の安全確保

質問 通学路の安全確保には、犯罪を起こしにくい環境の整備が大切だ。死角の解消や危険な場所への防犯カメラの設置など、地域と力を合わせて全力で取り組め。答弁 学校、家庭、地域の連携を強化し、さまざまな方策を講じる。

千歳烏山駅のバリアフリー化

質問 千歳烏山駅では、高齢者や子ども連れも急な階段を利用せざるを得ず、常に危険と隣り合わせの状態だ。区は一刻も早い駅のバリアフリー化の実現に努めよ。答弁 鉄道事業者との協議を進め、早期実現に向けて働きかける。

一

問

質

般

一

菅沼 つとむ議員(自 民)

けやきネットの見直し

質問 20年度にけやきネットが新しくなる。これまでの議会の議論を踏まえ、地域活性化やコミュニティ強化に結びつくような施設利用が可能なシステムとせよ。

答弁 教育委員会と連携して優先利用対象団体の拡大を検討する。

烏山北小での校庭の利用状況

質問 校庭が芝生化された烏山北小では、芝の維持管理が必要で、従来どおりに校庭が全面利用できているのか心配だ。芝生化した校庭の年間での利用状況を示せ。

答弁 18年に養生などのため芝生全面が使えなかったのは約1割だ。

準工業地域の保全

質問 準工業地域にマンションを建設する業者は、地元工業主と事業スペース併設などを協議するが協力的でない。区内工業を守るため、条例を制定し指導を強化せよ。

答弁 関係法令との関連性を検証し、実効性ある手法を研究する。

上川 あや議員(虹)

近見視力検査を実施せよ

質問 遠くを見る視力は良くても、近くを見る近見視力が低い子どもがいる。早期に視力不良を発見し、学習効率の低下を防ぐため、区立校で近見視力の検査を行え。

答弁 国などの動向を注視しながら、現行の検査の充実に取り組み。

視機能の発達遅れに対処を

質問 視機能の発達遅れで学習障害と同様の症状を起こすことがあるが、訓練で改善できる。区立校では、安易に学習障害と判断せず、視機能チェックと訓練を行え。

答弁 専門家などとの連携について研究課題としていきたい。

眼鏡処方への質確保に向けて

質問 他の先進国と異なり、日本では眼鏡店での眼鏡処方に資格、経験は問われない。区民の目の健康を守る見地から認定眼鏡士制度などの有用な情報発信を工夫せよ。

答弁 保健所などと連携し、消費者の立場に立つて情報提供を行う。

羽田 圭二議員(社 民)

子どもの救済最優先の体制の整備

質問 住民票は居住関係を公証するもので、福祉サービスが漏れなく受けるために不可欠だ。両親の事情で出生届が出されていない子ども、子どもの住民票は作成せよ。

答弁 子どもの命の大切さから必要なサービスについては対応する。

若年層の健康維持対策の強化

質問 17年度中にがんで亡くなった20〜30歳代の人は区内で10名いる。雇用形態が多様化する中、健康診断を受ける機会のない若年層対象の健康維持施策の充実を図れ。

答弁 区民健診の普及など、若い世代からの健康づくりを支援する。

自転車走行を考慮した道路づくり

質問 自転車走行環境の改善を多くの人が望んでおり、秋に実施する社会実験後の展開が重要だ。新たな道路をつくる際は、自転車走行環境を考慮した道路形態とせよ。

答弁 新設道路、既存道路双方で自転車走行空間の可能性を探る。

桜井 稔議員(共 産)

おはよう訪問の復活

質問 高齢者の孤独死が増加し、ひとり暮らし高齢者の毎日の安否確認の重要性が増している。少ない予算で確実に高齢者の安否確認ができるおはよう訪問を復活せよ。

答弁 既存のサービスを活用するなど、きめ細かく対応していく。

上町駅周辺への自転車駐輪場設置

質問 上町駅周辺には自転車駐輪場がなく、放置自転車が多い。自転車条例に定めた鉄道事業者の責務に従い駅周辺社有地に駐輪場を設置するよう、東急電鉄に求めよ。

答弁 条例の趣旨を踏まえ、引き続き鉄道事業者と検討を要請する。

補助26号線事業計画の中止

質問 三宿、池尻の住宅地に大型道路を通す補助26号線整備計画は、周辺地域の住環境を悪化させるものでしかない。区は地元住民の声を聞き、計画中止を都に求めよ。

答弁 事業の必要性や課題を周辺住民に説明するよう都に要望する。

里吉 ゆみ議員(共 産)

京王線の駅のバリアフリー化

質問 京王電鉄は、地域住民の切実な願いである千歳烏山駅と芦花公園駅のバリアフリー化に取り組み意向を表明した。工事完了までの詳細な計画内容を示せ。

答弁 両駅とも20年までにバリアフリー化を目指すという意向を示している。

南烏山4丁目の水害対策

質問 水害に悩まされてきた南烏山4丁目目、水害対策が不十分なマンションが建設される予定だ。地域住民を守るため、水害を拡大する開発をやめるよう指導せよ。

答弁 事業者から、今までの以上の水害拡大はないと報告を受けた。

男女共同参画条例の制定

質問 女性差別撤廃は世界的な流れだ。区はこの流れに逆行する動きに影響されることなく、男女平等推進を区の基本施策に据えるため、男女共同参画条例を制定せよ。

答弁 19年度に他自治体への調査を実施し、結果を踏まえ検討する。

山口 ひろみ議員(自 民)

等々力溪谷の整備

質問 都から名勝地として指定された等々力溪谷には、湧水流出地域の未整備部分が残っている。名勝地としての景観向上や水生生物育成のためにも整備に取り組み。

答弁 湧水地の測量調査を行い、結果をもとに整備内容を検討する。

学校教育での土曜日の有効活用

質問 地域で子どもを育てるためには、地域と学校、子どもの相互理解が必要だ。土曜日を、学力向上だけでなく、地域との結びつきを深めるためにも活用せよ。

答弁 授業公開を積極的に土曜日に行うなど、仕組みを工夫する。

等々力駅地下化工事の見直し

質問 等々力駅地下化案の提示から10年が経過したが、地元では工事に関する情報が錯綜しており、東急の動向が注目される。地下化工事の現状と見直しを示せ。

答弁 等々力溪谷の動植物などを、秋までに調査すると聞いている。

小畑 敏雄議員(自 民)

恵泉裏通り開通に向けた区民の決意

質問 恵泉裏通りの未整備区間は残りわずかとなったが、1本の道として車や人が往来できなければ事業の成果は実感できない。全面開通に向けた区民の決意を示せ。

答弁 早期完成を目指して不没転の覚悟で取り組んでいく。

補助52号線整備見直しへの対応

質問 成城地区を通る都市計画道路補助52号線の、補助27号線と交わる地点以西の計画が見直し候補に選ばれて3年がたつ。計画廃止を望む声に、どう対応するのか。

答弁 都と連携、調整し検討結果を早急に地元へ示せるよう努める。

地下室マンション紛争への対応

質問 地下室マンションのからばり部分が隣接住宅のすぐそばにつくられることへの不安などから、紛争が多発している。このような状況の解消に向け、対策を講じよ。

答弁 事前に近隣住民へ十分説明するよう、事業者などを指導する。

平塚 敬二議員(公 明)

木造住宅密集地域の耐震化

質問 木造住宅密集地域では、防災の観点から耐震化が重要だ。耐震改修助成対象外の建築物への対策を検討するなど、密集地域の防災面の課題を早急に解決せよ。

答弁 国や都と連携し、具体的な支援誘導策を早急に具体化したい。

元気体操りリーダーの養成

質問 高齢者の転倒防止には、筋力トレーニングが大切だ。身近な地域での介護予防の取り組みを広げるため、トレーニングを指導するリーダーを積極的に養成せよ。

答弁 元気体操りリーダーの養成を積極的に進めている。

認知症サポーターの養成

質問 認知症高齢者を介護する家族を地域で支える仕組みが大切だ。認知症に対する理解の啓発や、介護する家族の支援を行う認知症サポーター養成事業の内容を示せ。

答弁 19年度は100名、さらに今後5年間で500名の養成を目指す。

上杉 裕之議員(民主連)

障害者雇用の推進

質問 政府は20年度から、省庁や地方自治体の職場で知的障害者の非常勤雇用を推進する予定だ。この「チャレンジ雇用」について、区自身の取り組み姿勢を問う。

答弁 これからの運用状況を確認し、就労支援全体の中で検討する。

障害者グループホームの整備

質問 障害者が地域で暮らしていくための居住施設の整備が急務だ。身体、知的、精神という障害の態様によって異なるニーズに合ったグループホームの整備を推進せよ。

答弁 障害福祉計画に基づき、地域整備を進めていく。

法外福祉施設の法内化

質問 国や都からの特定財源が少なくない法外施設について、区はこれまで法内化を計画的に進めてきた。法内化に向けた今後の考えや予定、団体への支援について示せ。

答弁 障害者施設の運営法人などに情報提供し、法内化を支援する。

ひうち 優子議員(民主連)

自転車道整備の課題

質問 自転車道の整備に取り組む自治体が増えており、区も自転車走行環境の社会実験を行う予定だ。今後、新しく自転車道を整備するに当たっての課題を示せ。

答弁 社会実験の成果を踏まえ、世田谷らしい走行環境を整備する。

自転車走行の安全対策

質問 自転車事故の防止には、パイプ柵の設置により、坂道でのスピード超過を抑制するなどの工夫が必要だ。事故の起こりやすい場所を把握し、安全対策を施せ。

答弁 パイプ柵やポストコーンの設置など交通安全確保に取り組み。

正しい自転車利用の促進

質問 適切な自転車の利用を促進するには、子どものころから正しいマナーを身につけさせることが重要だ。自転車講習会の実施を、より多くの区民に周知せよ。

答弁 学校や警察などと連携し、子どもの交通安全教育に取り組む。

西村 じゅんや議員(民主連)

区政の認知度向上

質問 18年度区民意識調査では、多くの区民が広報紙を読む反面、区の重点施策の理解度は極端に低いことがわかった。区政の認知度向上にどう取り組むのか。

答弁 さまざまな工夫を取り入れながら、区政のPRに努める。

区民意識調査票への意見欄の設定

質問 区民意識調査の項目はすべて選択式であり、誘導や情報操作の可能性も否定できない。区政への真のニーズをくみ取るため、項目の一つに意見を書く欄を設けよ。

答弁 今後、ほかの自治体などを参考に研究していく。

子どもへの地域教育の推進

質問 行政への認知度向上には、幼少期の地域教育で区政への興味や関心を高めることが有効だ。子ども議会などの復活など、子どもが区政を身近に感じる機会を提供せよ。

答弁 区政への興味を高める取り組みを行うよう各校に働きかける。

木下 泰之議員(無党派)

改革方針秘匿のままの入札は問題

質問 区長設置の入札改革委員会報告書は3月末公表せず5月臨時会で契約案件を処理した理由を問う。松沢小の契約では福島県での談合摘発業者も含まれ問題だ。

答弁 4月に統一地方選挙があることを踏まえ、新議会に報告した。

下北沢連立で電鉄負担75%は過少

質問 連立事業は都の公共事業で、受益負担は高架で電鉄が14%だが、地下化の下北沢では65億円の事業費中、電鉄は50億円で75%のみ。高架より負担過少の理由を問う。

答弁 都と事業者が協議して定めたもので、詳細を話す立場にない。

区はセコム高層開発に手を貸すな

質問 芦花公園住宅跡地開発で、区方針の敷地内道路設置を断ったセコムに、消防はしご車のための区有水路敷提供は高層開発に手を貸すも同然だ。経緯を説明せよ。

答弁 水路沿い6mの確保は建築計画に困難との回答に対応した。

第3回定例会では、決算を審査します。会期は9月中旬から10月中旬の予定です。



東京都動物愛護相談センター主催の普及啓発事業（小学校での動物教室）

会派名等
 自民 自由民主党世田谷区議団
 公明 公明党世田谷区議団
 民主 民主党・無所属連合
 共産 日本共産党世田谷区議団
 生ネ 生活者ネットワーク世田谷区議団
 政策 せたがや政策会議
 社民 社会民主党世田谷区議団
 無党派 無党派市民
 虹 虹レインボー世田谷
 改革 改革クセ世田谷経営改革クラブ
 無所属 無所属

○130号線沿線道路拡幅の検討に関する陳情
◆清掃・リサイクル対策委員会に付託 3件
 ○サーマルリサイクルの本格実施前に、現状よりさらにごみの減量ができる廃プラスチックの資源回収を早期に実施することを求める陳情
 ○サーマルリサイクルの実施中止と廃プラの分別回収を求める陳情
 ○サーマルリサイクルの実施中止と廃プラの分別回収を求める陳情

議会日誌	
15日(金)	企画、区民、文教
18日(月)	福祉、都市
19日(火)	分権、オウム、清掃、交通
21日(木)	本会議（議案の議決、請願の付託）、議運

閉会中に開催された委員会
 5月28日(月) 企画、区民、文教
 29日(火) 福祉、都市
 31日(木) 議運、分権、オウム、清掃、交通
 6月4日(月) 議運
 会期中の主な会議日程
 6月12日(火) 本会議（代表質問）、議運
 13日(水) 本会議（代表質問、一般質問）
 14日(木) 本会議（一般質問、議案の付託、議案の議決、請願の付託）

委員会名称
 企画=企画総務委員会 区民=区民生活委員会
 福祉=福祉保健委員会 都市=都市整備委員会
 文教=文教委員会 議運=議会運営委員会
 分権=地方分権・庁舎問題等対策委員会
 オウム=オウム問題・災害・防犯等対策委員会
 清掃=清掃・リサイクル対策委員会
 交通=公共交通機関対策等委員会

自由民主党世田谷区議団	13人
公明党世田谷区議団	11人
民主党・無所属連合	11人
日本共産党世田谷区議団	5人
生活者ネットワーク世田谷区議団	4人
せたがや政策会議	3人
社会民主党世田谷区議団	2人
無党派市民	1人
虹レインボー世田谷	1人
無所属	1人
合計	52人

議員の辞職と繰り上げ当選
 森学議員（改革ク）は、7月3日付で区議会議員を辞職しました。これに伴い、7月5日付で下山芳男氏（自民）が繰り上げ当選となりました。

この結果、区議会の会派等の構成は次のとおりになりました。

下山 芳男 (自民)
 〒154-0011 上馬4-2-5
 電話 3418-2869
 《所属委員会》
 ・区民生活常任委員会
 ・公共交通機関対策等特別委員会

請願・陳情の提出方法

区政に関する事柄について、区民の皆さんが直接区議会に要望できる制度として「請願」があります。提出された請願は、その内容により、関係する委員会で審査されます。審査の結果、採択されると区議会としては、区長に請願書を送付したり、関係機関に意見書や要望書を出したりして、その実現に努力するよう求めます。

なお、請願には議員の紹介が必要で、議員の紹介がない場合は「陳情」となりますが、請願と同様に扱われることもあります。

◆請願の書き方
 ① 請願は日本語を用い、文書で提出してください。

傍聴のご案内

本会議や常任委員会、特別委員会は、どなたでも傍聴できます。ぜひお越しになり、直接会議の様子をごらんください。傍聴席は、本会議場に69席、委員室に6席（予算・決算委員会室は12席）用意してあります。車いすでの傍聴もできます。本会議や委員会の開催日については、区議会事務局にお問い合わせいただくか、区議会ホームページでご確認ください。

◆傍聴する場合
 区議会事務局の傍聴受付で住所と氏名を記入し、傍聴券の交付を受けてください。

◆傍聴のお問い合わせ先
 区議会事務局庶務係
 TEL (五四三二) 二七七二

◆請願・陳情の受け付けについて
 請願や陳情はいつでも受け付けますが、各定例会の開会日及び閉会日のそれぞれ7日前ごろが締め切りとなりますので、お問い合わせの上、ご確認ください。

◆請願・陳情のお問い合わせ先
 区議会事務局議事
 TEL (五四三二) 二七七五

② 請願の内容は、なるべく区の権限に属する事項か、属さない事項でも地域の公益に関する事項にしてください。
 ③ 件名、要旨、理由などを書いてください。
 ④ 提出年月日、請願者の住所を記載し、請願者が署名、または記名押印してください。
 ⑤ 請願には、その表紙に紹介の区議会議員1人以上の署名、または記名押印が必要です。陳情の場合は不要です。

編集後記

○今定例会では、35名の議員が、子育て支援や学校教育など、区政のさまざまな課題について質問を行いました。

○区議会定例会は、2、6、9、11月の年4回開かれます。なお、本会議や予算・決算特別委員会の生中継を、区役所第1、第3庁舎、総合支所、文化生活情報センター内の市民活動支援コーナーで放映しています。ぜひごらんください。

○区議会だよりのテープ版を発行しています。視覚障害のある方などお問い合わせご希望の方が

本紙に掲載された質問、答弁などの詳しい内容についてお知らせになりたい方は、会議録（8月下旬発行予定）をごらんください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所などに備えてあります。また、ホームページでもごらんいただけます。

お問い合わせやお気づきの点がありましたら、区議会事務局調査係までお寄せください。
 TEL (五四三二) 二七七九
 FAX (五四三二) 三〇三〇



デイサービス「すずらん梅丘」での活動の様子